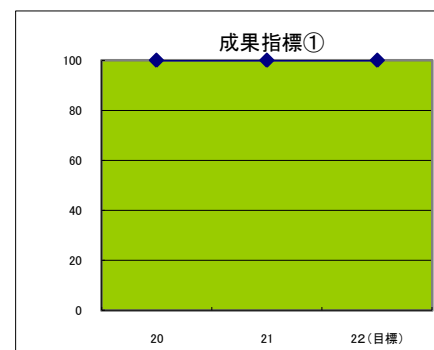
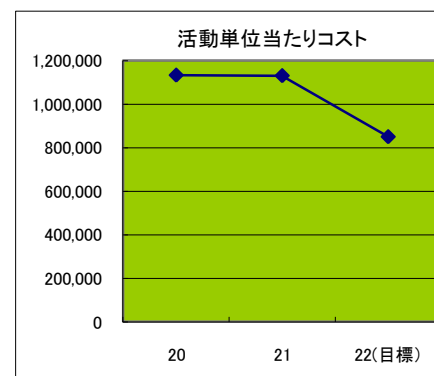


事務事業名		農業用施設管理事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	6	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	5	農地費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	事業	2	水利施設管理	作成部署 生活環境部産業振興課
	施策(節)	6	都市農業				
	施策の方向	(2)	農業生産基盤の強化				
関連する計画等							
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2791		
	広域農道や古市排水機場等の市管理施設及びピーチパーク・パークはびきやま等の地元管理施設						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	適正な施設の維持管理を行う。						
	◎市として市施設の適正な維持管理を行い責務を果たすと共に、地元と協働で創造した施設については、その施設管理者である地元(町会・水利組合等)と市が協働し、適正な維持管理に努める。 ○大阪府との契約により市が管理する施設：広域農道・飛鳥支線・川向排水機場・壺井排水機場 等 ○市が管理する施設：古市排水機場・古市湛水防除水路・榎山池太陽光発電システム・大谷農道・長坂農道 等 ○地元と市が協働で管理する施設：伊賀今池ピーチパーク・パークはびきやま 等						
根拠法令等							
事業開始時期		☒ 昭和 47 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化		経年経過による施設の老朽化に伴い施設管理費も増加している。					
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他			委託内容	古市排水機場機械維持管理委託 外	

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		9,818	9,263	8,942
人件費【2】 (千円)		4,920	3,180	3,810
職員数	正規職員	0.62 人	0.40 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.30 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.15 人	0.10 人	0.10 人
	超過勤務(参考) (時間)	10.00 時間	15.00 時間	15.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		14,738	12,443	12,752
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	14,738	12,443	12,752
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 維持補修実施施設数	個所	13	11	15
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】①)		1,133,692 円	1,131,182 円	850,133 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		123 円	105 円	107 円



成果指標	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	①	維持補修実施率	%	保守点検業務で指摘のあった整備箇所を次年度に整備を行う。	目標 100	100	達成率(%) 100
	(式)	実施整備数÷計画数×100			実績 100	100	100.0%
	②				目標		達成率(%)
	(式)				実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	所管施設の適正な管理を行い、常に正常な状態に保つことは施設管理者としての責務である。
		○		○		○		○	○		

分析・評価

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	施設管理を怠ると事故や災害（人災）に直結し、甚大な被害が発生する。そのため、ポンプ施設の機械のメンテナンスや農道の保守点検は必要不可欠である。また、地元と市の協働で作った施設について、地域の憩いの場として現在も不特定多数の人に使用されており、人的な事故等が発生しないよう地元と共に適正な管理が求められている。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☒	☐	☐	
効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☐	☒	☐	市の管理する施設は老朽化が進んでおり、適切な管理をしていくためには人員や予算の削減はできない。地元の管理する施設については、市も協働し地元で適切な管理をして頂けるよう努める。
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
	市の他事業と重複していない	☐	☒	☐	
民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☐	☒	☐		
有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	市・地元の管理施設については、適切に管理されており、農業生産の安定・円滑化・農業振興に寄与すると共に地域住民の憩いの場として快適に使用されている。
	上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	伊賀今池ピーチパークやパークはびきやま等は、オアシス整備事業により地元と共に整備計画を立案し、整備しており、現在も地元と市が協働で維持管理を行っている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	市管理施設及び地元と協働で管理している施設に問題が発生しても適切な対応を市も地元も行っているため、目的は達成している。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	市の管理施設は、定期的な点検を行い、簡易な修繕を行いながら現在は適正に管理している。しかし、経年経過により施設の老朽化が進んでおり、適正な管理も近い将来に困難となる可能性も考えられる。また、地元管理施設については故障箇所の修繕など、行政の役割を果たしている。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	地元ニーズを反映しながら行政として適正な施設管理義務を果たすことができるよう、推進していくと伴に、維持管理の簡素化に努めていく。また、地元と市が協働で管理する施設については、将来に渡り地域から親しまれ大切にされる施設となるよう市もできる限り協働を行っていく。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	
	評価理由・意見	